

## 発表！これまでのすだち記事アクセスランキング

メールマガジン「すだち」もいよいよ最終回となりました。2005年2月17日の創刊以来15年にわたり、たくさんの記事を配信してきましたが、それらがどれくらい読まれたのか、どんな記事が注目されたのか・・・、とても気になります。

そこで、これまでの記事について、アクセスランキングを出してみることにしました。

アクセス累計期間は、2013年4月から2019年12月まで。実は100号記念号（2013.5）でも累計ランキングを出しているのですが、その後のアクセス状況について見てみようという目論見です。その結果がこちら！

### 「アクセスが多かった記事」ランキング

順位	アクセス数 合計	アクセス数 (学外から)	掲載号	記事タイトル
1	2476	2467	35(2007/12)	連載：図書館のモノ・もの ◎No.23 書架
2	1687	1685	24(2007/1)	新連載：図書館のモノ・もの ◎No.1 ブックトラック BOOK TRUCK, ◎No.2 電波時計
3	1490	1447	103(2013/8)	この夏、図書館で涼しく勉強しませんか？ ～徳島大学附属図書館の自習応援フェア
4	1418	1415	29(2007/6)	連載：図書館のモノ・もの ◎No.12 閲覧机
5	1234	1233	37(2008/2)	「知的感動ライブラリー」(10) 黒澤明監督『赤ひげ』解説
6	1205	1196	32(2007/9)	連載：図書館のモノ・もの ◎No.18 スローダン(緩降機)
7	1168	1165	46(2008/11)	「知的感動ライブラリー」(19) ミュージカル映画『ウェスト・サイド物語』(1961年)の魅力
8	1134	1130	32(2007/9)	連載：図書館のモノ・もの ◎No.17 無線LANアクセスポイント
9	904	903	44(2008/9)	「知的感動ライブラリー」(17) ヴェルディ歌劇『アイダ』の解説
10	883	880	31(2007/8)	連載：図書館のモノ・もの ◎No.16 複写機

栄えあるアクセスランキング1位は「連載：図書館のモノ・もの ◎No.23 書架」！

なんとこの記事、前回100号のアクセスランキングでも1位でした。

そしてよく見ると、ランキング10位以内に同連載の記事が6本も入っている・・・！

この連載は、「一般的な図書館紹介ではあまりとりあげられることのない図書館小道具を写真付きで解説」するという、ややマニアックな記事なのですが、それが図書館外の方の興味をそそったのか、同業者の方の琴線に触れたのか、はたまたコアなファンがいらっしまったのか・・・。書かれてから10年以上たってもアクセスが続いていることに正直驚きました。

ランキング入りした他の記事はというと、これまた連載記事である「知的感動ライブラリー」から3本がランクインしています。知的感動ライブラリーは、元館長の石川榮作名誉教授が執筆されていた記事で、館長を退任した後も連載を継続され、その連載回数はなんと100回！お好きな映画について熱く語っており、相当な長文ですが読み応えがあって、読ん

ただで映画を見た気分になります。こういったコンテンツをしっかりと届けつつ蓄積できるのが、メールマガジンの良いところだと改めて感じました。

連載以外でランキングに入ったのは「この夏,図書館で涼しく勉強しませんか?～徳島大学附属図書館の自習応援フェア」1本のみ。しかもこれだけが100号以降の記事になります。図書館で高校生の自習を認めるかどうかについては、全国の図書館でしばしば話題になりますので、そのたびに検索され読まれたのではないかと推察されます。

さて、このランキング、学外からのアクセス数と学内からのアクセス数を積み上げて算出しているのですが、ランキングを集計している中で、学外と学内で読まれているものの傾向が違うな・・・ということに気づきました。そこで、学内からのアクセスに絞ったランキングもご紹介します。

(ちなみに、学外からのアクセスランキングと学外・学内のアクセス数を合計したランキングはほぼ同じでした。)

### 「学内からのアクセスが多かった記事」ランキング

順位	アクセス数 (学内から)	掲載号	記事タイトル	参考	
				合計アクセス 数での順位	アクセス数 合計
1	53	66(2010/7)	今月の「つねくら学園」ニュース	53	548
2	52	113(2014/6)	ライブラリーワークショップ活動報告 ※「ライブラリーワークショップ」とは?	91	443
3	49	115(2014/8)	学びサポート企画部活動報告「先生のコバナシ～実は私こんなことをしているんです～」	110	412
4	46	72(2011/1)	今月の「つねくら学園」ニュース ◎4コマ漫画	22	714
5	46	67(2010/8)	今月の「つねくら学園」ニュース ◎休館日のおぱっくマ	38	627
6	<b>43</b>	<b>103(2013/8)</b>	<b>この夏,図書館で涼しく勉強しませんか? ～徳島大学附属図書館の自習応援フェア</b>	<b>3</b>	<b>1490</b>
7	43	84(2012/1)	徳島大学附属図書館本館1階が「ラーニング・コモンズ」に生まれ変わりました!	31	662
8	42	108(2014/1)	「TOKUDAI川柳」入賞作品発表	260	283
9	41	100(2013/5)	図書館のお仕事	160	337
10	39	102(2013/7)	知的書評合戦ビブリオバトルin徳島の開催を終えて	113	408

こちらの1位は、図書館キャラクターを紹介した連載記事「つねくら学園」ニュースでした。そして、この2つのランキングに共通してランクインしているのが「この夏,図書館で涼しく勉強しませんか?～徳島大学附属図書館の自習応援フェア」1本のみ、というのが、傾向の違いを如実に表しています。

学内ランキングの場合、図書館職員が過去の仕事を確認するために検索した影響があるように思われます。おそらくは「つねくら学園」の記事も、そんな感じだったのではないのでしょうか。学内に熱心なファンが居たのならうれしいのですが……。その他、学内で多くの方が関わったイベントなどに関する記事へのアクセスが多いように感じられます。ここではランキング10位までしか紹介していませんが、30位くらいまでをみると、学生協

働や図書館と連携した授業の記事、先生方のエッセイに多くのアクセスがありました。関係者の方が、「どんな記事になったかな？」と関心を持って読まれたのではないのでしょうか。

もう少し、別の観点からのランキングも紹介しましょう。先に紹介した2つのアクセスランキングは、固有のURLを持つ記事へのアクセス数を累計しています。ですが、メールマガジンの記事の中には、固有のURLを持たない、メールマガジン本体のみに掲載された記事もかなりあります。そこで、メールマガジンの各号本文へのアクセスに絞ってランキングを出してみました。

### 「アクセスが多かった号」ランキング

順位	アクセス数 合計	アクセス数 (学外から)	号	発行年月	記事概要
1	1161	995	100	2013年5月	99-100合併, 100号記念号
2	976	955	6	2005年7月	○山西家文書の寄贈受入について ○Scopusが利用できます ○交流の広場(図書館に寄せられた質問等とその回答) など, 新しい資料, 新サービスのお知らせあり
3	961	841	116	2014年9月	記事が18本! 5本の連載, 連携授業, 学生協働の報告など, 比較的アクセス数の多い記事が集まっている
4	893	764	98	2013年3月	○お知らせ ・徳島市立図書館と連携協力に関する協定を締結しました などが目玉記事?
5	886	762	113	2014年6月	○お知らせ ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの利用について ・AIREX(宇宙航空文献情報公開システム)が利用できます など, 新しいサービスのお知らせあり
6	858	743	107	2013年12月	○ちょうりゅう(トピックス) ・「ビブリオバトル首都決戦2013」徳島・香川ブロック地区代表, 特別賞 受賞 など
7	846	798	74	2011年3月	○お知らせ ・みなさんの就活を応援します! ~就活本コーナーができました ○ちょうりゅう(トピックス) ・高校生の就業体験 ・「医学図書館」の看板(-蔵本分館の今昔 Part2-) など
8	822	737	102	2013年7月	○お知らせ ・ミニ展示 「徳島ヴォルティス選手のオススメ本」【本館】 など
9	816	700	105	2013年10月	○お知らせ ・TOKUDAI川柳募集! ~テーマ「学生生活の中の図書館」~ ○ちょうりゅう(トピックス) ・「第3回 大学図書館 学生協働交流シンポジウム」に参加しました など
10	813	743	95	2012年12月	○ちょうりゅう(トピックス) ・FD・SDセミナー「図書館を利用した学習支援」で発表しました など

1位は、100号記念号！かなり力を入れて作成したものですし、記事数も多いのでこの結果には納得です。読まれていてよかった、皆さんのもとにしっかり届いてよかったな、と感じました。

その他ランキングに入った号の内容を見てみると、新しいサービスや新しい資料の紹介、図書館と図書館以外の方がコラボしたイベントなどの紹介記事が多いように思われました。

こうして過去の記事を見ると、図書館の変化や時代の変化を感じます。懐かしく思い出したり、学術情報をめぐる環境の変化に驚いたり。メールマガジンを出してきて良かった。

これから当館は、SNSでの情報発信を進めますが、SNSはフロー（流れ）は得意だけれどストック（蓄積）は苦手という面があり、それが若干の懸案事項となっています。

15年続いてきたメールマガジンを終了するのですから、これまで愛読いただいた皆様に納得してもらえよう、図書館のホームページなどストックを充実させつつ、SNSをうまく活用してより多くの方に届けていけたら、と思っています。

本当はもっとたくさんランキングを紹介したかったのですが、きりがないのでこの辺にしておきます。振り返ると、すだちには、多くの学生や教員の皆様からのご寄稿いただきました。いずれも貴重な時間をさいてご執筆いただいた力作揃いで、感謝の思いでいっぱいです。メールマガジン「すだち」の配信は終わりますが、これまでの記事は図書館ホームページで公開しておりますので、気になる記事は、バックナンバーをご確認くださいませ。

バックナンバーはこちらから <https://www.lib.tokushima-u.ac.jp/m-mag/back.html>

長らくのご愛読、本当にありがとうございました。